

アクト

議会だより

みんな
さつと
もっと
と
いい町へ

第 53 号
2017.11.1

10月4日初議会、16人で新たなスタート

3 議会構成決まる

4 一般会計決算認定

～実質公債費比率9年連続改善～

議長・副議長あいさつ	2
議会構成	3
定例会概要	4
一般質問	12
研修報告	16
キラリ美郷	18

住み続けたい町を目指して



澁谷 俊二 議長

この度、改選後の初議会にて議長に選任を頂き感謝申し上げます。浅学非才な人間ですが、お引き受けした以上、誠心誠意職務を全うする覚悟でございます。今回の改選で議員定数が削減され各議員も責務の重大さを感じていることと思えます。

議会もこれまで以上に結束を固らなければいけないと考えています。美郷町も十四年目を迎え、旧町村の垣根も取り払われ、町づくりも順調に進んでいるところでございます。今後も町当局と議論を重ね足並みを揃え、子ども達が大人になっても住み続けたいと思

える町づくりを目指して頑張ります。町づくりの原点は町民の声です。皆さんの声をいち早く行政に反映し、開かれた議会、町民に信頼される議会を目指して頑張りますので、よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



熊谷 隆一 副議長

この度、改選後の初議会におきまして副議長に選任をして頂き感謝申し上げます。同時に、その責務の重大さに、決意も新たに職務に励んで行く覚悟をしております。他の市町村の方から「美郷町は良くやっているな」と言われる事

があります。その事は悪い気はしません。町の現状を見てみますと、人口減少、農業の担い手の高齢化、増え続ける空き家等々、行政課題は山積しています。町当局は全力で取り組んでいますが、議会としても町民の声を聞きながら、町との議論

を深め「町民が住んで良かった、住み続けた」と思える町づくりの為に、心一つにして、新たな四年間の任期を全うする必要があると思っております。町民各位のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

議会構成決まる

9月17日に投開票され、当選した16名の議員による初議会が、10月4日に招集されました。議長と副議長の選挙は、単記無記名投票で行われました。その結果、澁谷俊二議員が議長に、熊谷隆一議員が副議長に選出されました。議長と副議長の任期は4年、各常任委員会の所属任期は2年です。

総務常任委員会



伊藤 福章 澁谷 俊二 高山 茂雄
小原 正彦 細井 邦男 泉 美和子
(副委員長) (委員長)

総務、財政、税務、企画やほかの委員会に属さないものの調査並びに議案及び請願、陳情等の審査

産業建設常任委員会



深沢 義一 内田 清文 深澤 均
村田 薫 熊谷 良夫
(委員長) (副委員長)

農林、農地、商工、観光、労働、土木、建築、都市計画、住宅、上下水道などの産業建設に関する調査並びに議案及び請願、陳情等の審査

教育民生常任委員会



鈴木 正洋 森元 淑雄 熊谷 隆一
藤原 政春 鈴木 良勝
(委員長) (副委員長)

教育、文化、厚生、社会福祉、保健衛生、消防などの教育民生に関する調査並びに議案及び請願、陳情等の審査

議会運営委員会



小原 正彦 深澤 均 熊谷 隆一
熊谷 良夫 森元 淑雄 泉 美和子
(副委員長) (委員長)

議会の会期日程、内容等の審査

議会広報常任委員会



細井 邦男 熊谷 良夫 熊谷 隆一
内田 清文 高山 茂雄 鈴木 正洋
(副委員長) (委員長)

議会広報紙の取材、編集及び発行

- ◆大曲仙北広域市町村圏組合議会議員 澁谷俊二 (議長) 深沢義一 小原正彦 鈴木良勝
- ◆大仙美郷環境事業組合議会議員 澁谷俊二 (議長) 鈴木正洋 内田清文 高山茂雄
- ◆大仙美郷介護福祉組合議会議員 澁谷俊二 (議長) 熊谷隆一 (副議長) 藤原政春

平成28年度会計決算

決算特別委員会で審査



実質公債費比率9年連続で改善

9月定例会を、8月28日から9月6日までの10日間の会期で開きました。審議した議案は平成28年度美郷町一般会計決算認定など18議案。その全てを原案のとおり認定・可決しました。また、一般質問は2議員が登壇して町政を質し、陳情1件を採択し同意書を提出しました。

今 定例会は、平成28年度一般・特別会計決算認定を中心に審議しました。決算については、決算特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

町 の財政状況を示す指標はいずれも改善されており、財政健全化に向けた運営がなされていることが報告されました。その中で、実質公債費比率は5・4%となり前年より1・6%改善されました。また、経常収支比率は、84・6

%となり前年度より0・2ポイント改善されました。

一般会計決算は、歳入115億6949万3千円、歳出110億7839万円で、歳入歳出差引4億9110万3千円の黒字決算となりました。特別会計では、簡易水道事業が、企業会計へ移行したため3月31日に打ち切り決算となり、歳入歳出差引マイナス1051万円でした。国民健康保険・下水道事業・農業集

ラベンダー園



生育不良のため土壌改良が行われる予定の箇所

落排水事業・後期高齢者医療はすべてが黒字決算となりました。議会では、8月28日に決算の説明を受け29日に総括質疑を行ったうえで9月1日に特別委員会で審査し、6日に採決を行いました。その結果、一般会計は賛成多数（賛成15人、反対2人）で5つの特別会計は全員賛成で認定しました。

平 成29年度一般会計予算は、7月の大雨被害による農地・農業用施設の災害復旧事業補助金1115万円。農業経営など復旧・再開支援対策に係る補助金の追加160万円、大坂・黒沢線ほか10路線の舗装工事の追加7880万円、ラベンダー園土壌改良工事679万円

など、歳入・歳出にそれぞれ1億5186万9千円を追加し、補正後の一般会計総額を110億5240万3千円としました。

そ のほか、固定資産の評価審査委員会委員の選任に同意し、関係法律の施行にともなう町の個人情報保護条例の一部改正、指定金融機関の指定の変更、財産の取得契約などを可決し、閉会しました。

※1 実質公債費比率

自治体の標準財政規模に対する借金の返済額を割合で表したもので、18%を超えると新規借入れする場合に国や県の許可が必要になります。

※2 経常収支比率

町税・使用料などの毎年決まった収入に対して人件費・扶助費など決まった支出が占める割合のことで、高いほど財政に余裕がないこととなります。

決算特別委員会審査

多岐にわたり

活発な議論

9月1日、決算特別委員会に付託された「平成28年度一般会計・特別会計決算」を審査しました。(議長及び議会選出監査委員を除く議員16人)その結果、一般会計は賛成多数(賛成11、反対2、欠席2)で、国民健康保険・簡易水道事業・下水道事業・農業集落排水事業・後期高齢者医療特別会計は全会一致で認定すべきものとなりました。以下、主な質疑を要約しお伝えします。

一般会計決算

コンビニ納付状況は

森元議員 滞納による平成28年度の差し押さえ件数と、コンビニ納付状況は。

税務課長 差し押さえ件数は16件である。コンビニ収納実績は5059件で増加傾向である。

町税の見直しは

泉(美)議員 所得によ

る町税の見直しは。

税務課長 農業所得は米価によるところが大きく、また、総所得の80%を占める給与所得者数が減ると予想されるので減少すると見込んでいます。

3社より寄付

深澤(均)議員 企業版ふるさと納税の実績は。
企画財政課長 人材育成と生菓の里推進事業に対して、3社から寄付をいただいている。

えているか。
税務課長 納税意識が高まっている中、納税義務の点からも検討していく。

利用実績は

細井議員 予約制乗合タクシー登録者のうち何人が実際に利用しているのか。

企画財政課長 登録者860名に対して利用者は311名である。

利用率向上対策は

藤原議員 高齢者への温泉利用助成とはり・灸・マッサージ等施術助成の利用割合が低い対策は。
福祉保健課長 温泉利

個別に対応する

村田議員 緊急告知FMラジオの電波がよく

入らない地域があるが対策は。
住民生活課長 個別に対応したいと考えてい

解体を促していく

泉(美)議員 危険空き家状況は。
住民生活課長 解体が進み現在危険空き家として登録はないが、近隣で迷惑をしていけば解体を促していく。

補助金のあり方は

武藤議員 納税貯蓄組合への補助金のあり方についてどのように考



平成30年度まで全戸配置される緊急告知FMラジオ

用助成では50・1%、はり・灸・マッサージでは18・3%であり、高齢者福祉計画の中で検討していく。

認知症カフェの内容は

泉(美)議員 認知症カフェ運営業務の内容は。
福祉保健課長 2施設内で本人、家族、職員が認知症に関する相談をした。人数はそれぞれ10人ほどである。

ワクアス宿泊者数20%増

村田議員 ワクアスの利用状況は。
生涯学習課長 延べ2426人が宿泊し、前年比20%の増となった

いる。

機械や設備の購入費

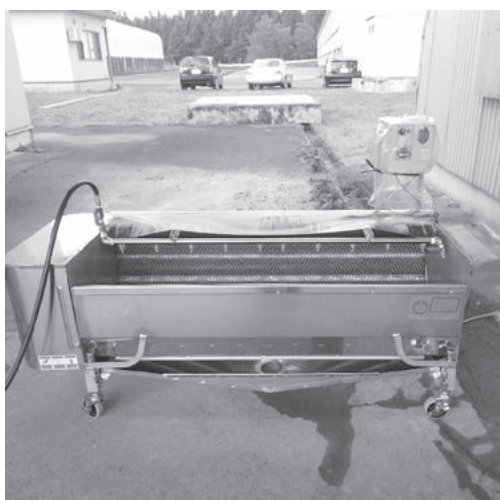
深澤(均)議員 生菓生産体制支援事業補助金の内容は。
農政課長 (株)美郷の大地に対して、生産体制を整え、出荷に結びつけるための機械や設備の購入費である。

データの活用は

藤原議員 生菓の試験栽培で得たデータはどのように活用されているのか。
農政課長 栽培農家や栽培を希望する農家の勉強会などに使われている。



利用が拡大している予約制乗合タクシー



美郷の大地が導入したキキョウの皮むき機

不用額の内容は

森元議員 道路維持費の不用額の内容は。

建設課長 主に除雪費の不用額である。

**国民健康保険
特別会計決算**

11世帯に発行

泉(美)議員 被保険者資格証明書の発行実績と、発行に至るまでの町の働き掛けは。
福祉保健課長 11世帯、14名であり減少している。
税務課長 滞納者に対して納税相談を年4回行っており、相談に応

じられない方に資格証明書を発行している。

**簡易水道事業
特別会計決算**

収入未済額が多い理由

森元議員 収入未済額が前年度より多い理由は。

また不用額の主な内容は。

建設課長 29年度から企業会計に移行し、3月31日に打ち切り決算したためである。

不用額については、今年度から上水道とするためのシステム改修費などの支払いが4月になったためである。



仙南中央地区浄水場の紫外線照射装置

一般会計決算

未納対策は

森元議員 監査委員の意見で「町税以外の部分に平成25年度決算からの未納があり、適切な法の処置を講じられない」とあるが、どのように受け止めているか。

町長 真摯に受け止めているとともに、滞納者に対してきちんと対処することが重要と考えている。

教育長 奨学資金貸し付け金の未返済と給食費の未納について個別の事情に応じて粘り強く努力していく。

法に基づき対応する

深沢(義)議員 平成25年度から未納となつている清掃費と行政代執行費に対する28年度と今後の対応は。

町長 滞納対策班を中心に各課連携のもとに適正な納税を促進していく。

住民生活課長 行政代執行費の徴収については国税と同じ扱いとなり滞納処分の執行停止を行い、その後毎年、所得調査・財産調査を行っている。清掃費については現在、債務者が亡くなつており、法に基づき対応していく。

一般会計決算認定

反対討論

泉(美)議員 職員の士気にマイナスの影響が心配される人事評価制度の実施と、マインバー制度にかかわる予算の執行がされたため、住民の利益を考えると賛成できない。

賛成討論

杉澤議員 重点施策を美郷リーディングプロジェクトに位置づけ、一定の成果をあげている。また、地方創生事業では将来につながる取組がなされた。
財政面では、実質公債費比率が9年連続で改善されるなど、健全な財政運営であると評価し賛成する。

**監査委員の
審査意見**

審査に付された各会計決算書、明細書及び調書は、正確であると認められた。各決算の内容及び予算執行の適否についても適正と認められたほか、指導事項にも適切に対応されており、良好と認められた。

歳出の主な増加要因は、公民館天井・ステージ改修、消防本部改築負担金、佐藤家蔵移築などで、減少要因は平成27年度で完了したワクアス付帯施設改修、水源涵養林購入事業な

どである。

歳入については、自主財源である町税や各種公共料金に關しては滞納繰越分の徴収に重点が置かれ、取納率が向上している。

実質公債費比率は、改善傾向が続いている。経常収支比率についても改善が見られ、特に公債費10・5ポイントの減少は、プライマリーバランスに配慮した財政運営や町債の繰上償還など財政上の努力の成果が表れたものだ。
(抜粋・要約)

滞納対策の強化を

8月29日、本会議において平成28年度一般会計・特別会計決算の総括質疑を行いました。その主な内容を要約しお伝えします。

町の指定金融機関を輪番制に

町指定金融機関の指定の変更に
ついて

内容 町の指定金融機関を平成30年4月から33年3月まで北都銀行とし、平成33年4月から36年3月まで秋田銀行の輪番制に変更。

経緯は

熊谷(良)議員 議案提出に至った経緯は。
総務課長 8月9日に北都銀行から要望書が来た。要望は内容を調査し出来る限り回答を早急に出している。今回の場合も庁内で調査

検討を重ね、その結果を踏まえ提出した。

財産の取得

内容 4トンダンプトラックを560万5千円で取得、納期は12月。

美郷町個人情報保護条例の一部改正

内容 国の法律改正に伴い条例内の用語の定義等を改正。

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条1項の規定に基づく規則を定める条例の一部改正

内容 工場立地に関する緑地等の面積基準を定めた条例の名称等を改正。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

内容 こども園の認定権限などを国から県な

9月6日、本会議において条例・補正予算について質疑・討論・採決を行いました。以下、主な議案内容と質疑を要約してお伝えします。

どへ委譲し、地域の自主性を高めるため。

条件付採用職員等の分限に関する条例の廃止

内容 特区制度の廃止に伴い臨時保育士等の分限に関する条例を廃止。

平成29年度
一般会計補正予算

今後の活動は

村田議員 六郷まちづくり(株)の株式165株を825万円で取得する事により町の観光行政をどのように考えているのか。



六郷まちづくり(株)が入る湧太郎

商工観光交流課長 現時点で株式の半数を有している。観光拠点、中心市街地活性化、特産品の開発・販売等で会社と連携して活動している。保有割合が高くなっても同様の活動をしていく。

枝払いの基準は

深澤(均)議員 個人所有の立木の枝払いもやっているのか。

建設課長 道路にはみ出している個人の樹木の管理は個人の方に切ってもらっている。今回の予算は公道の樹木の枝払いである。

一般会計補正予算 主な事業



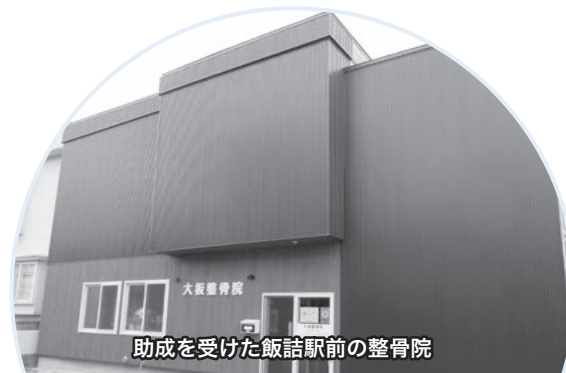
*災害復旧事業補助金
農地・農業用施設
1115万円



*農業経営等復旧・再開
支援対策事業補助金
種子2/3、薬剤1/6を補助
160万円



*道路舗装工事の追加
大坂・黒沢線他10路線
7880万円



*起業者総合支援事業
補助金
180万円

2議員が 4項目を質す

9月4日の本会議において一般質問が行われました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

質問者

深澤 均 議員

- ◇ 7月豪雨の対応とその後の検証について
- ◇ 乗り合いタクシーを利用できない交通弱者対策について

泉 美和子 議員

- ◇ 介護保険制度について
- ◇ 国保税の引き下げを

一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

今後の災害時に対する対応は

町長 きめ細かな情報発信に努める



深澤 均 議員

議員 7月の豪雨災害に町・職員はどのような対応をし、町消防団・自主防災組織はどのような活動をしたのか。また、災害対応において検討すべき点についてうかがう。

町長 7月22日に大雨警報が発令されたため、情報収集に当たった。その後、「警戒が必要」なレベルになり災害警戒部を設置したが、「非常に危険」なレベルに達したため災害対策本部に切りかえ、全職員を招集し避難所開設等の対応に当た

せた。同時に、土砂災害警戒区域住民に対し「避難勧告」を発令し、防災行政無線や緊急告知FMラジオ、広報車、電話などにより避難を呼びかけた。

町消防団は水害対応や水害警戒活動に当たり、自主防災組織は避難の呼びかけや地域の見守りなどを行った。今後検討すべき点として、避難区域における大字以下の特定や、ラジオやメール、町ホームページにおいてリアルタイムでの情報発信、浸水被害に対する事前の支援策の充実などが挙げられる。

交通弱者への支援策は

町長 様々な制度の活用を

議員 乗降場所まで遠いため、乗り合いタクシーを利用できない交通弱者に対策を講じるべきではないか。

の困り事対応を行っているので活用していただきたい。加えて、昨年度から高齢者の生活支援態勢を整備するための検討会を立ち上げ、様々な支援のあり方を検討している。

町長 乗り合いタクシーは制度上、玄関先での乗降ができないことをご理解していただきたい。また、今年度からは介護保険事業に事業対象者区分が追加されたことで、買い物や通院の支援、介護タクシー等のサービスが利用しやすいよう改善された。さらに、介護保険外でも、おたすけマン事業として日常生活

介護保険サービスの後退を防止

町長 サービスの選択肢は増えている

議員 介護保険制度に関する共同通信の調査によると県内の60%の市町村が「苦勞している」と回答しているが、町はどのように回答したのかお尋ねする。町の総合事業についてサービスの後退を防ぎ、町独自の保険料軽減策を実施すべきだ。

町長 調査には「どちらとも言えない」と回答している。サービスについては選択肢が増えており、本人や家族の希望に添えるものと思う。2市1町の運営なので町独自の軽減

策は無理があると考え

議員 滞納者へのペナルティーは社会保障の観点からおかしいと思うが町長はどう考えるか。

町長 基本的にそういう制度であるというところをご理解いただきたい。いずれ社会保障のありようは立法府での議論が基本かと考える。



広島市町村圏組合介護保険事務所



泉 美和子 議員

来年度の引き下げを

町長 物理的に無理

議員 国保税を基金や繰越金などの財源を活用して、来年度は引き下げを求めたい。

町長 基金残高は軽減策を実施できる規模ではなく、繰越金は実質的に負担軽減に向けられており、さらなる軽減は物理的に無理と想う。過去3年負担軽減していることをご理解いただきたい。

人事



(新任)
深沢 一彦氏 (千屋南部)

【美郷町固定資産評価審査委員会委員】
美郷町固定資産評価審査委員会委員を、次の方の選任に同意しました。

9月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇陳情6号「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情
全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳

反対討論

泉(美)議員 秋田県はすでに水と緑の森づくり税として住民税の均等割り額の超過課税を行い個人では800円、法人では8%を上乗せしている。国の制度ができるのと二重課税となり負担増となる。国民に等しく負担を求めるとはならず、地球温暖化対策税の拡充を図り、林業の温暖化対策の実行に充てるようにすべきである。

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

○：賛成・採択 ●：反対・不採択 趣：趣旨採択 欠：欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
議員名	澁谷 俊二	鈴木 良勝	伊藤 福章	中村美智男	村田 薫	泉 繁夫	深澤 均	武藤 威	泉 美和子	細井 邦男	熊谷 隆一	藤原 政春	飛澤龍右工門	森元 淑雄	熊谷 良夫	杉澤 隆一	深沢 義一	高橋 猛	
◎平成29年第6回議会定例会 (8/28~9/6)																			
認定第1号 平成28年度一般会計決算認定																			
	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第6号 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情																			
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

羽後町の各種事業を研修

県南三ヶ町村議会議員連絡協議会研修会

7月12日、羽後町、東成瀬村、美郷町の県南三ヶ町村議会議員連絡協議会研修会が、羽後町を会場に開かれました。

昨年オーブンした道の駅うご「端縫いの郷」では、レストランや羽後町の特産のすいか等の農産物の直売所ににぎわいを感ずる事が出来ました。

羽後町の誘致企業である村田指月FCソリユーションズの新工場建設現場では、これから普及が



旧長谷山邸

進むEVに使われる高耐久フィルムコンデンサ等を製造する計画で、フル操業時は55人の雇用が見込まれるとの説明でした。

旧長谷山邸の蔵を利用した鎌鼬美術館には、舞踏家土方巽の写真集が展示されており、国内外から見学者が訪れているそうです。

地域から日用品等を販売する店がなくなつたため、不便を感じた地元住民が「お互いさまスーパ

ー・仙道てんぼ」を運営し住民の生活に役立つという実例を見学しました。羽後町の各般の事業展開は美郷町にも大いに参考となると感じました。

質問力向上で議会の活性化

県町村議会議員研修会・議会広報研修会(秋田市)

8月1日、県町村議会議員研修会・議会広報研修会が県市町村会館で開催されました。

研修会では法政大学・副学長広瀬克哉氏から「質問力向上による議会活性化について」の演目で講演をいただきました。議事機関として議会の役割を実現するため、議



講師の法政大学・副学長広瀬克哉氏

会に与えられた制度や権限を十分に使いこなしているか。議会の仕事ぶりが、住民にどのように伝わり、どのように評価されているのか。など、議会の活性化のため、質問力の向上がなぜ必要なのか、具体的な話がありました。

続いて、毎日新聞論説副委員長、人羅格氏から「激動期に入った政局」と題して、都議選後の政局の行方についての話がありました。

議会広報研修会では、講師に議会広報コンサルタントの芳野政明氏を迎え、県内9町村から提出された「議会報」を見ながら、クリニクスの形で改善点などを学びました。

大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会(美郷町)

人口減少の克服に向けて

7月21日、美郷町公民館を会場に、大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会が行われました。

秋田県あきた未来創造部部長妹尾明氏から「人口減少の克服に向けて」と題して講演をいただきました。

平成28年、県人口が100万人割れた事は、県民にとって衝撃的な報道でした。

県では人口減少を最大の行政課題と捉え、秋田県人口ビジョンを策定し、あきた未来総合戦略で仕事づくり、移住・定住対策、少子化対策、新たな地域社会の形成を掲げており、

具体策は今後の県事業に順次、反映される事になります。町の課題も同じであり、県と連携した事業展開が求められると感じました。



講師の妹尾明氏

第5回臨時会(8月2日)

第54回秋田県消防操法大会に出場

8月2日、第5回臨時会を開催し、報告2件の後、承認1件、補正予算1件の審議を行い、全員賛成で原案を可決しました。

一般会計補正予算は、9月2日に行われた第54回秋田県消防操法大会に出場するための経費と7月22日からの大雨被害による災害復旧にかかる経費です。

歳入歳出それぞれに1308万9千円を追加し、総額109億53万4千円となりました。

みさと 議会だより 第52号 クイズ 正解と当選者

★クイズ

【問1】 内陸〇〇型地震 → 【正解】 直下

【問2】 投票日は、9月〇〇日 → 【正解】 ①⑦

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方々が当選しました。

鈴木 直保様 辻 麻子様 加藤 好文様

キラリ美郷

vol.48

～せんはた松並コール～

【団員】25人

【始まり】平成2年、生涯学習「お母さんコーラス」として16人で発足

【主な受賞歴】

平成21年：美郷町芸術文化賞・奨励賞

平成27年：仙北地域振興局「元気なふるさと秋田づくり」顕彰事業

【今年度の主な活動】

5月：自衛隊音楽隊コンサート

／7月：美郷町戦没者慰霊祭／

8月：大仙仙北合唱祭／10

月：美郷町金婚式、美郷町芸術

文化協会発表会／11月5日：

せんはた松並コールコンサート

／12月10日：大いなる秋田演

奏会

【活動日】

毎週火曜日の夜、北ふれあい館

で2時間練習

【会費】月2,000円

【問合せ】代表 佐藤定子

☎0187-85-3573



澄んだハーモニーを響かせるメンバー



問1 美郷町議会の各委員会の任期は〇年

問2 平成28年度におけるワクアスの宿泊者数は〇〇%の増

○の中だけお答えください

応募方法／

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10
美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／

平成29年11月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、12月上旬を予定しています。傍聴をお待ちしております。

北ふれあい館の第1研修室に、澄んだ歌声が響く。ピアノを囲んだ「人の輪」が、ひとつひとつ揺れていた。

「口を縦に開けて、言葉をはつきりと」。指導者の中村玲子さんが、曲の合間に短くアドバイス。午後8時を回っていても、皆の表情は晴々しい。

「せんはた松並コールは出席率がいいんです。家族の理解があるから、こうして夜も出て来られます」。代表の佐藤定子さんが語る。「田んぼに出ている母さんたちの歌が、中村先生の指導のおかげで、コーラスらしきものになってきた。27年もの間、続いてきたこと

に感謝しています」

恒例となった秋のコンサートを、今年は11月5日に開く。発表曲は「埴生の宿」「浜辺の歌」「Stand Alone」など。来場者にお茶やお菓子を配る細かな心配りも忘れない。

団名の由来を、事務局の田口恵子さんは次のように説明した。『「コール」はドイツ語で『合唱』を意味します。松は一本一本、違っていても、まとまって並木となれば美しいでしょう』

坂本東嶽は、村全体の融和を目指し並木道を整備した。翁の教えは今も息づいているようだ。(取材・鈴木正洋)